



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社三機サービス 上場取引所 東
 コード番号 6044 URL <https://www.sanki-s.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北越 達男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 川崎 理 (TEL) 079-289-4411
 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績(2023年6月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	4,537	68.8	107	—	110	—	71	—
2023年5月期第1四半期	2,688	7.2	△141	—	△139	—	△78	—

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 89百万円(—%) 2023年5月期第1四半期 △76百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年5月期第1四半期	円 銭 11.21	円 銭 —
2023年5月期第1四半期	△13.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第1四半期	7,533	3,773	50.1	587.48
2023年5月期	8,353	3,833	45.9	596.79

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 3,773百万円 2023年5月期 3,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,176	30.0	178	125.8	179	122.9	112	83.1	17.51
通期	17,900	21.5	729	26.7	732	26.4	470	3.9	73.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連ける財務諸表の作成に特有の会系処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年5月期1Q	6,583,485株	2023年5月期	6,583,485株
2024年5月期1Q	160,011株	2023年5月期	159,811株
2024年5月期1Q	6,423,561株	2023年5月期1Q	5,926,445株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられたこと等により、行動制限や海外渡航制限も緩和され、経済活動は正常化に向かう動きが見られました。しかし、不安定な世界情勢の影響や急激な円安の進行、資源価格の高騰や半導体の供給不足などが続いており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くメンテナンス業界におきましては、昨今のエネルギーコスト高騰による設備維持管理費用の削減ニーズが高まりつつあります。当社グループでは、お客様の状況に合わせてカスタマイズした省エネサービスを提案し、持続可能な社会の実現につながるよう取り組みを進めており、お客様には導入後のアフターフォローについても評価いただいております。

また、2022年7月11日付で公表した新中期経営計画（2023年5月期～2025年5月期）において、2030年の目指す姿として「安心・快適な空間のインフラを技術・データ・ITでプロデュース（クリエイト）する会社」を掲げた上で、2023年5月期からの3年間を収益基盤強化期と位置付けております。2030年へ向けて当社の提供するトータルメンテナンスサービス、環境ソリューションサービス及びメンテナンスサービスで保有する技術を、より広く、より深く、深化（進化）していくことで、当社のMISSIONである「空間インフラのもっと快適、ずっと安心な空間を提供すること」に繋がり、お客様により良いサービスが提供できると考えております。収益基盤強化期の2期目にあたる当期は、サービス拡充とさらなる領域拡大に一層力をいれて取り組み、目指す姿へ邁進してまいります。

このような環境下において、当社グループは、長年培ってきたサービスエンジニアの技術力、ノウハウ、組織力を核にし、お客様の保有する建物の設備の修理や保全メンテナンスを広エリアで一括アウトソーシングしていただくトータルメンテナンスサービスや、データ分析に裏付けられた予防保全、省エネ設備更新等の事業拡大に注力してまいりました。また、自社メンテナンスエンジニアの多能工化（大型吸収式冷温水機をはじめとして小型パッケージエアコン等の各種空調機器を扱うことができること）を推進することや新入社員の早期育成を行うために、引き続き当社研修センターでの実機研修による人材育成を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間につきましては、前期より始まった大口取引先のトータルメンテナンスサービスや大口の空調設備改善工事が順調に推移したことが、売上の増加に大きく寄与しました。また、付加価値の高い環境ソリューションサービスにおける省エネ工事が、新型コロナウイルスの規制緩和が進んだことにより本格再開でき、増加傾向にあります。加えて、2022年12月1日より新しく連結対象となった株式会社兵庫機工の影響もあり、売上高は4,537,397千円(前年同期比68.8%増)を計上しました。コロナ禍において取り組んできた技術力の強化や営業活動の成果が現れた結果と捉えております。

また、実機研修等により当社全体の技術レベルが向上し、従来のメンテナンスに加え多種多様な空調工事案件に対応できる体制となったことで生産性が上がり、売上総利益は923,041千円(前年同期比89.7%増)となりました。また、販売費及び一般管理費は、中期経営計画を見据えての人的投資・人材育成に積極的に取り組んだことによる人件費の増加等により、815,210千円(前年同期比29.7%増)となりました。これらの結果、営業利益は107,831千円(前年同期は141,805千円の営業損失)、経常利益は110,374千円(前年同期は139,423千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は71,978千円(前年同期は78,868千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

当社グループのセグメントはこれまで単一セグメントでありましたが、前第3四半期連結会計期間末より株式会社兵庫機工を株式交換完全子会社として連結子会社化したことに伴い、「建設関連製品サービス事業」を新たに報告セグメントとして追加し、「メンテナンス事業」及び「建設関連製品サービス事業」の2区分に変更しております。また、「建設関連製品サービス事業」については、前年同四半期連結累計期間の実績がないため、比較情報を記載しておりません。

(メンテナンス事業)

メンテナンス事業は、主に空調機器、厨房機器、電気設備及び給排水衛生設備等のあらゆる設備のメンテナンスを行っております。当第1四半期連結会計期間における業績は、売上高4,100,391千円(前年同期比52.5%増)、セグメント利益は104,698千円(前年同期比は141,805千円のセグメント損失)となりました。

(建設関連製品サービス事業)

建設関連製品サービス事業は、主に各種建物を対象とした金属製ドア・シャッター・サッシの製造及び販売、取付工事を行っております。当第1四半期連結会計期間における業績は、売上高437,006千円、セグメント利益3,133千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ823,038千円減少し6,129,171千円となりました。主な要因は、現金及び預金が692,258千円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が1,367,356千円減少したこと等によります。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,799千円増加し1,404,600千円となりました。主な要因は、無形固定資産が16,565千円減少した一方で、投資有価証券が24,080千円増加したこと等によります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ819,239千円減少し7,533,772千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ721,230千円減少し2,854,444千円となりました。主な要因は、支払手形及び工事未払金が242,040千円、未払法人税等が207,431千円及び賞与引当金が156,853千円、それぞれ減少したこと等によります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ38,049千円減少し905,691千円となりました。主な要因は、長期借入金が43,211千円減少したこと等によります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ759,279千円減少し3,760,136千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ59,960千円減少し3,773,636千円となりました。主な要因は、利益剰余金が77,491千円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、2023年7月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,524,485	2,216,743
受取手形、売掛金及び契約資産	4,514,468	3,147,111
未成工事支出金	397,262	349,847
原材料及び貯蔵品	39,909	30,215
その他	476,917	386,437
貸倒引当金	△833	△1,183
流動資産合計	6,952,210	6,129,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	317,288	312,005
土地	175,207	175,207
その他(純額)	58,931	61,248
有形固定資産合計	551,427	548,461
無形固定資産		
183,253		166,688
投資その他の資産		
投資有価証券	198,302	222,383
長期前払費用	123,362	124,455
退職給付に係る資産	33,085	32,614
繰延税金資産	203,849	200,696
その他	112,320	114,100
貸倒引当金	△4,800	△4,800
投資その他の資産合計	666,120	689,450
固定資産合計	1,400,801	1,404,600
資産合計	8,353,011	7,533,772
負債の部		
流動負債		
支払手形及び工事未払金	1,818,049	1,576,009
短期借入金	64,760	50,000
1年内返済予定の長期借入金	196,268	190,412
未払法人税等	294,045	86,614
賞与引当金	265,860	109,006
その他	936,689	842,401
流動負債合計	3,575,674	2,854,444
固定負債		
長期借入金	549,231	506,020
役員退職慰労引当金	48,130	48,912
退職給付に係る負債	143,003	141,975
資産除去債務	17,126	16,455
長期末払金	150,885	150,885
繰延税金負債	19,082	23,667
その他	16,283	17,775
固定負債合計	943,741	905,691
負債合計	4,519,415	3,760,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	616,652	616,652
資本剰余金	1,080,970	1,080,970
利益剰余金	2,277,924	2,200,432
自己株式	△141,946	△141,946
株主資本合計	3,833,601	3,756,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,726	12,336
為替換算調整勘定	3,721	5,189
その他の包括利益累計額合計	△5	17,526
純資産合計	3,833,596	3,773,636
負債純資産合計	8,353,011	7,533,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2023年8月31日)
売上高	2,688,582	4,537,397
売上原価	2,201,917	3,614,355
売上総利益	486,664	923,041
販売費及び一般管理費	628,469	815,210
営業利益又は営業損失(△)	△141,805	107,831
営業外収益		
受取利息	60	41
受取配当金	802	936
受取手数料	251	288
受取家賃	400	539
為替差益	921	157
その他	701	1,307
営業外収益合計	3,137	3,271
営業外費用		
支払利息	307	580
租税公課	—	50
株式報酬費用	411	29
その他	36	68
営業外費用合計	755	727
経常利益又は経常損失(△)	△139,423	110,374
特別利益		
退職給付制度改定益	24,192	—
保険金収入	—	8,004
特別利益合計	24,192	8,004
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△115,230	118,379
法人税等	△36,361	46,401
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,868	71,978
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△78,868	71,978

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,868	71,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△271	16,063
為替換算調整勘定	3,010	1,467
その他の包括利益合計	2,739	17,531
四半期包括利益	△76,129	89,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76,129	89,509

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

当社グループは、メンテナンス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	メンテナンス事業	建設関連製品サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,100,391	437,006	4,537,397	—	4,537,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,100,391	437,006	4,537,397	—	4,537,397
セグメント利益	104,698	3,133	107,831	—	107,831

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループのセグメントはこれまで単一セグメントでありましたが、前第3四半期連結会計期間末より株式会社兵庫機工を株式交換完全子会社として連結子会社化したことに伴い、「建設関連製品サービス事業」を新たに報告セグメントとして追加し、「メンテナンス事業」及び「建設関連製品サービス事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、「建設関連製品サービス事業」が前第3四半期連結会計期間末より追加されたことから、開示を行っておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。